

## 令和8年度 鳥取県立倉吉総合看護専門学校組織目標

### 《教育理念》

豊かな人間性と専門的な知識・技術を有する看護職を養成することを教育の目的とする。生涯にわたって自己研鑽に努め、県民の健康と福祉の向上に貢献できる看護職の養成を目指す。

### 《組織目標》

教育の充実を図り、時代のニーズに対応できる高度な資質を有する看護職員を養成する。

### 【政策内容】

#### 1 学校のPR・学生数の確保

##### 〈目標〉

学校の魅力をPR/地域との連携強化/定員の確保

##### 〈実施方策〉

- ① インスタグラム及びホームページ、オープンキャンパスの充実を図り、学校生活や学校の強み（国家試験合格率、少人数教育、実習環境等）の広報を積極的に行います。
- ② 高等学校等への学校訪問進路ガイダンスへの積極的な参加に加え、中学校との交流活動に積極的に参加するなどして学校の魅力をPRします。
- ③ 学生自治会と共に、地域住民との交流や地域貢献及びボランティアへの積極的な参加による、学外との交流を行います。
- ④ 一人でも多くの看護職員を養成するために、推薦・社会人入試及び一般入試日程等の周知と適正な入学選抜試験（入試要項の見直し等）を行います。

参考：令和8年度入学試験志願者と入学者数

(単位:人)

学 科	定 員	志願者数	受験者数(A)	受験倍率(A/定員)	入学者数
助産学科	16	42	37	2.3	16
第1看護学科	35	76	70	2.0	34
第2看護学科	20	2	2	0.1	2

※推薦・社会人入試を含む

#### 2 県内就職の定着

##### 〈目標〉

県内就職率80%以上（進学者・県外者を除く）

##### 〈実施方策〉

- ① 県が実施している就職ガイダンスへの積極的勧奨を、低学年から行います。
- ② 県内者・県外者に対して、鳥取県看護職員修学資金のPRを行います。
- ③ 県内就職の卒業生と交流会（卒業生語る会）を行います。
- ④ 県内医療機関等の就職情報を学生に提供し、学生個々に応じたきめ細やかな進路相談・指導を実施します。

参考：卒業者の就職状況(令和8年3月31日現在)

学 科	就 職				計	進学	その他	合計
	県 内		県 外					
	公的機関	民間機関	公的機関	民間機関				
助産学科	10	1	5	0	16	—	—	16
第1看護学科	6	7	3	3	19	6	—	25
第2看護学科	2	2	0	0	4	—	—	4

### 3 教育の質の向上

#### 〈目標〉

カリキュラムの適切な進捗管理/教員の資質向上/国家試験合格100%

#### 〈実施方策〉

- ① 教育目的・目標の達成に向けて、カリキュラム評価に基づいた計画的な教育活動を行います。
- ② 教育環境の整備を行い、ICTを活用した教育活動を展開します。
- ③ 研修会の参加による自己研鑽及び伝達講習を行うとともに、研究授業や教育研究活動の実施に努めます。
- ④ 実習施設との交流促進による連携強化及び実習指導体制の充実を図ります。
- ⑤ 国家試験対策(計画的な模擬試験や講義等)に加えて、WEB活用による学習機会の拡大と学生個々の取り組み状況に合わせた学習指導を行います。

#### 参考：国家試験合格率の推移

##### 【助産学科】 助産師国家試験 (%)

	R4.3月	R5.3月	R6.3月	R7.3月	R8.3月
本校	100	100	100	93.7	100
全国	99.4	95.6	98.8	98.9	99.7

##### 【第1看護学科】 看護師国家試験 (%)

	R4.3月	R5.3月	R6.3月	R7.3月	R8.3月
本校	100	100	96.5	100	100
全国	91.3	90.8	87.8	90.1	88.3

##### 【第2看護学科】 看護師国家試験 (%)

	R4.3月	R5.3月	R6.3月	R7.3月	R8.3月
本校	100	100	100	100	100
全国	91.3	90.8	87.8	90.1	88.3

### 4 学習支援の充実

#### 〈目標〉

円滑なクラス運営/退学者・休学者の低減

#### 〈実施方策〉

- ① ホームルームの効果的な活用により、学校生活が円滑に送れるよう支援します。
- ② 担当教員による定期面談等により学生の生活や学習環境及び学習状況を把握し、必要に応じて保護者と連携を図りながら支援します。
- ③ スクールカウンセラーの利用促進によるメンタルサポート体制を強化します。